

議会運営委員会で

10月30日、議会運営委員6人で、江府町・南部町議会へ行き、議会運営にかかわる事項を視察研修しました。



全国の議会で活用され始めたタブレット端末

タブレット端末の導入

江府町議会へ

江府町議会は、日南町議会の先例にならって、タブレット導入の検討を始めた。議会改革調査特別委員会で3年間の協議を重ねた末、平成26年7月からタブレットの使用を開始した。

各種案内や連絡など、議員への通知はすべてタブレットへのメールで行っている。議案も入れているが、まだ導入したばかりなので、印刷物も配布している。

タブレットの活用は、用紙・印刷代の経費節減にもなるので、本町議会でも導入に向けて参考になった。

予算決算の常任委員会

南部町議会へ



説明を受ける議会運営委員

南部町議会は、全国自治体で3例目となる「予算決算常任委員会」を設置している。この常任委員会には全議員が所属し、議案の質疑はすべてこの委員会で行う。

従来の2常任委員会に加えて、平成23年3月議会から新たにこの常任委員会を設けた。それによって、全議員が共通認識のもとに、すべての議案を審査することができるといふ利点がある。本町議会の常任委員会のあり方は、今後の検討課題である。

全議員で

10月29日、災害時における相互応援協定を結んでいる兵庫県養父市へ、特徴的な施策について視察研修に行きました。

国家戦略特区の指定

養父市も人口減少、高齢化による過疎化が進んでいる。これに歯止めをかけ、定住人口を確保するために、平成26年5月に農業と観光を軸とする国家戦略特区の指定(全国で6地区)を受け、地域経済の活性化策を進めている。

既存の取り組みに加えて、特区の指定によって、民間の農業参入と農地流動化の促進、6次産業化の推進に取り組む。また、雇用の重点分野に農業・食品製造業・観光業をあげて、雇用創出や人材育成などに取り組んでいる。



廃校利用やスキー場の説明も受ける

議会だよりだいせん38号 訂正		2P (誤) 15の特別会計	(正) 16の特別会計
表紙 (誤) 発行日10月8日	(正) 10月30日	3P (誤) 農家台帳システム2500万円	(正) 356万円